令和4年6月定例会　議案等に対する賛否について

※表中の見方:「○」＝賛成 「×」＝反対

※議長は表決に加わらないため、「／」としています。

【市長提出議案①】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	富山市議会自由民主党（15人）															自由民主党（8人）								公明党（4人）				立憲民主市民の会（3人）			会派誠政（2人）		日本共産党（2人）		気魄（1人）	政策フォーラム32（1人）
				飯山 勝彦	織田 伸一	高原 譲	田辺 裕三	豊岡 達郎	松井 邦人	金谷 幸則	舎川 智也	髙田 真里	髙道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀（議長）	高田 重信	金岡 貴裕	藤田 克樹	澤田 和秀	久保 大憲	泉 英之	押田 大祐	江西 照康	柞山 数男	柏 佳枝	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	岡部 享	東 篤	村石 篤	尾上 一彦	橋本 雅雄	吉田 修	赤星ゆかり	谷口 寿一	大島 満
議案第74号	令和4年度富山市一般会計補正予算（第1号）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	令和4年度富山市企業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	富山市附属機関設置条例の一部を改正する条例制定の件	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	富山市市税条例等の一部を改正する条例制定の件	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	富山市産業振興促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定の件	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	富山市児童館条例の一部を改正する条例制定の件	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	富山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	富山市水橋会館条例制定の件	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	富山市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	富山市手数料条例の一部を改正する条例制定の件	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	富山市特定公共賃貸住宅条例及び富山市地域特別賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定の件	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	委託契約締結の件（富山市民球場スコアボード更新業務委託）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	工事請負契約締結の件（和合中学校校舎解体工事）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	工事請負契約締結の件（速星中学校体育館解体工事）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	工事請負契約締結の件（月岡緑町団地汚水処理場解体工事）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号	工事請負契約締結の件（富山市ブールバール広場ゾーンB再整備（その1）工事）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	工事請負契約締結の件（都市計画道路下新西町上赤江線改良工事）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	工事請負契約締結の件（富山消防署南部出張所及び富山方面団熊野分団器具置場改築主体工事）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【市長提出議案②】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	富山市議会自由民主党（15人）															自由民主党（8人）								公明党（4人）				立憲民主市民の会（3人）			会派誠政（2人）		日本共産党（2人）		気魄（1人）	政策フォーラム32（1人）
				飯山 勝彦	織田 伸一	高原 譲	田辺 裕三	豊岡 達郎	松井 邦人	金谷 幸則	舎川 智也	髙田 真里	髙道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田（議長） 博紀	高田 重信	金岡 貴裕	藤田 克樹	澤田 和秀	久保 大憲	泉 英之	押田 大祐	江西 照康	柞山 数男	柏 佳枝	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	岡部 享	東 篤	村石 篤	尾上 一彦	橋本 雅雄	吉田 修	赤星 ゆかり	谷口 寿一	大島 満
議案第92号	工事請負変更契約締結の件（呉羽丘陵フットパス連絡橋整備工事）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
（議案第92号、報告第34号を一括して討論）	**（反対討論要旨／日本共産党　赤星議員）** 呉羽丘陵フットパス連絡橋工事費は当初案の2億2，000万円から14億3，000万円に膨らんだ。以前にも土質調査費2，300万円などの追加があり、本当に慎重に検討してきたのなら、このような継ぎ足しが発生しないはずである。 前建設部長は裁判で、当時の上司から前市長の強い要望だとして前市長の任期中の着工を求められ時間がなかったと述べているが、職員への聞き取りで「違法・不適切な指示をした者は確認できなかった」とし、市長と副市長の給料合わせて50万円余の減額で調査終了とすることは到底承服できない。 まさに「市長案件」であり「全体の奉仕者」のはずの公務員が市政を歪めた、市政の私物化であり、憲法・地方公務員法にも抵触する行為である。官製談合事件の核心は何かを徹底解明する姿勢が見えず、市民は納得しない。本来は市議会が100条委員会を設置すべきである。																																						
（議案第92号、報告第34号を一括して討論）	**（賛成討論要旨／富山市議会自由民主党　田辺議員）** 呉羽丘陵フットパス連絡橋整備事業の変更は、当初想定していた架設計画に基づき、関係諸団体からの意見を伺いながら受注者による実際の仮設計画について検討した結果、更なる安全性の確保や通行制限の影響を鑑み、架設計画を大きく見直す必要が生じたことによるものである。見直した架設計画では、社会的影響が大きい日中の長時間通行制限を行うことから夜間のみの通行止めへと変更したことと、より安全な施工を考えてベントの設置を行うこととなった。 そもそも、この橋梁の設計に瑕疵があるのではなく、通行規制による社会的影響と安全な施工を考慮して事業費の増額と事業期間の延長を行うものであり、連絡橋の早期完成に向け、必要な対策を確実に行った上で、中断することなく着実に進めることが重要である。 加えて、この議案は、3月定例会で継続費の事業費の増額と事業期間の延長を議決したことに伴い、今定例会において工事請負変更契約締結の議案が提出されたものである。 また、市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例制定に関しては、市長は今回の事件が特に社会的影響の大きな事案であったことを踏まえ、懲戒免職とした被処分者への発令から時間をおかずに、市長としての責任を明らかにしたいとの思いから専決処分を行ったと、私たちに理解を求められた。 さらに専決処分については、今後とも地方自治法の趣旨を踏まえ、適切に対処していくとも答弁されている。今回は市長の意を尊重し、法の規定上の問題はなく、承認すべきと考える。																																						
議案第93号	土地処分の件（呉羽南部企業団地分譲地）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	財産取得の件（化学消防ポンプ自動車 1台）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	財産取得の件（高規格救急自動車 2台）	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	令和4年度富山市一般会計補正予算（第2号）	6/10	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	富山市副市長の選任に関し同意を求める件	6/30	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決処分について承認を求める件（富山市市税条例の一部を改正する条例制定の件）	6/30	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第5号	専決処分について承認を求める件（富山市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定の件）	6/30	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【市長提出議案③】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	富山市議会自由民主党（15人）															自由民主党（8人）								公明党（4人）				立憲民主市民の会（3人）			会派誠政（2人）		日本共産党（2人）		気魄（1人）	政策フォーラム32（1人）
				飯山勝彦	織田伸一	高原譲	田辺裕三	豊岡達郎	松井邦人	金谷幸則	舎川智也	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀（議長）	髙田重信	金岡貴裕	藤田克樹	澤田和秀	久保大憲	泉英之	押田大祐	江西照康	柞山数男	柏佳枝	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	岡部享	東篤	村石篤	尾上一彦	橋本雅雄	吉田修	赤星ゆかり	谷口寿一	大島満
報告第34号	専決処分について承認を求める件（市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件）	6/30	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
	（反対討論要旨／日本共産党　赤星議員） ※議案第92号の討論概要に掲載																																						
	（賛成討論要旨／富山市議会自由民主党　田辺議員） ※議案第92号の討論概要に掲載																																						
	（賛成討論要旨／自由民主党　藤田議員） この専決処分は、元幹部職員の不祥事を受けて、市の信頼が失墜をしたことを藤井市長が厳粛に受け止め、組織の長として責任を感じ自らの給料を減額することにより、責任の所在を明らかにしたいという一心で決断をされたことであり、その決断に敬意を表するとともに支持する。 今回の専決処分は、再発防止のため綱紀粛正に努める藤井市長の覚悟も含まれていると受け止め、全会一致で承認することを呼びかける。																																						

【議員提出議案】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	富山市議会自由民主党（15人）															自由民主党（8人）								公明党（4人）				立憲民主市民の会（3人）			会派誠政（2人）		日本共産党（2人）		気魄（1人）	政策フォーラム32（1人）
				飯山勝彦	織田伸一	高原譲	田辺裕三	豊岡達郎	松井邦人	金谷幸則	舎川智也	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀（議長）	高田重信	金岡貴裕	藤田克樹	澤田和秀	久保大憲	泉英之	押田大祐	江西照康	柞山数男	柏佳枝	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	岡部享	東篤	村石篤	尾上一彦	橋本雅雄	吉田修	赤星ゆかり	谷口寿一	大島満
議員提出議案第10号	地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第11号	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第12号	北朝鮮拉致被害者の現状調査と早期救出及びミサイル発射への対抗措置を求める意見書	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○
議員提出議案第13号	台湾の環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定への加入に向けた積極的な支援を求める意見書	6/30	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○
議員提出議案第14号	教育予算の増額と負担軽減措置等の拡充を求める意見書	6/30	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○
	（反対討論要旨／富山市議会自由民主党　豊岡議員） 国は、「子供たちへの投資は未来への投資」との認識の下、幼児教育や保育の無償化、小学校35人学級の計画的な整備等を着実に進め、子どもたちの教育環境の充実に取り組んでいる。 意見書では就学援助や奨学金制度の充実、授業料の負担軽減措置の拡充を求めているが、令和2年度から高等教育の就学支援の新制度を開始し、真に支援が必要な低所得者世帯の学生に対して給付型の奨学金と授業料などの減免による支援措置を講じている。 以上のような政策を進めているにも関わらず、本意見書では国が取り組んでいる政策に一切触れることなく一方的な支援の拡充を求めており、賛同できない。																																						
	（賛成討論要旨／自由民主党　金岡議員） 岸田政権の主要政策の一つ、子ども施策の司令塔となる「こども家庭庁」設置法とこども基本法が6月15日に開かれた参院本会議で可決、成立した。充実した子ども施策には十分な予算配分が不可欠として、岸田首相は今国会の初めから「将来的な子供関連予算の倍増」を明言した。 子ども関連予算の中には、当然、教育予算も含まれており、財源の裏付けも含め、岸田首相が推進しようとしていることに対し、自民党が反対する理由はない。 本市においても、国に対する重点要望の中で、学校施設の整備・充実や、教職員の定数拡充など教育予算の拡充を求めている。 意見書の採択に賛同いただくよう呼びかける。																																						
議員提出議案第15号	エッセンシャルワーカーを新型コロナウイルス感染症ワクチンの4回目接種の対象に追加するよう求める意見書	6/30	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	（賛成討論要旨／自由民主党　江西議員） 地方自治法第九十九条に「地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」とある。 意見書は富山市や市民の公益につながる事柄を、国会や関係行政庁に対して、議会として明確な意志を示すことで、地方の声を届け、政策や予算に反映するための後押しをするものである。 藤井市長を含む県内市町村長や、全国の市長や新田知事が国に対して働きかけている内容に対し否決することは、全国の市長や知事の決議や国への働きかけに水を差すことになる。 意見書の採択に賛同いただくよう呼びかける。																																						

【請願・陳情】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	富山市議会自由民主党（15人）															自由民主党（8人）								公明党（4人）				立憲民主市民の会（3人）			会派誠政（2人）		日本共産党（2人）		気魄（1人）	政策フォーラム32（1人）
				飯山勝彦	織田伸一	高原譲	田辺裕三	豊岡達郎	松井邦人	金谷幸則	舎川智也	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀（議長）	高田重信	金岡貴裕	藤田克樹	澤田和秀	久保大憲	泉英之	押田大祐	江西照康	柞山数男	柏佳枝	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	岡部享	東篤	村石篤	尾上一彦	橋本雅雄	吉田修	赤星ゆかり	谷口寿一	大島満
令和4年分請願第1号	日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書採択を求める請願	6/30	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×
（請願第1号、請願第2号を一括して討論）	（賛成討論要旨／日本共産党　吉田議員） 令和4年分請願第1号について、6月ウィーンで、核兵器禁止条約第1回締約国会議が開かれたが、唯一の戦争被爆国である日本政府はオブザーバー参加せず、世界から大きな失望と批判を呼んだ。一方、「核の共有」の動きがあり、絶対容認することができない。日本政府が「橋渡し」を言うのなら、核兵器禁止条約を調印・批准する決断をするよう求める意見書を提出することを呼びかける。 令和4年分請願第2号について、コロナ禍に加え、ウクライナ危機と異常な円安で、あらゆる物価が高騰している。全ての国民、全ての業種にわたって暮らしと営業の応援、経済を回復させる最も効果的な対策は、消費税の減税だと考える。今、世界では91の国と地域で、「付加価値税」を減税している。政府に「消費税の減税の決断を求める意見書」を提出することを呼びかける。																																						
令和4年分請願第2号	消費税率5%以下への引き下げとインボイスの中止を求める意見書採択を求める請願	6/30	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×
	（賛成討論要旨／日本共産党　吉田議員） ※請願第1号の討論概要に掲載																																						
令和4年分陳情第3号	コロナ感染拡大防止策に関する陳情	6/30	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
令和4年分陳情第8号	市街化調整区域撤廃に関する陳情	6/30	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※表中の討論要旨については、各議員が発言内容を1案件あたり350字程度にまとめたものを掲載しています。（討論の掲載順は実際の発言順としています。）
※各発言の全文については、「富山市議会インターネット中継」の6月30日開催の本会議分、または、「令和4年6月富山市議会定例会会議録」（令和4年8月下旬発行予定）にて、ご確認ください。